

日本台湾交流協会事業月間報告

1月	内容	場所
6日	日本語専門家派遣事業（主催）	台北市（万芳高校）
9日～14日	オピニオンリーダー招聘（趙天麟・立法委員）（主催）	東京都、千葉県
10日	2023日台知財シンポジウム（共催）	台北市（集思交通部国際会議中心）
11日	日本語専門家派遣事業（主催）	桃園市（中壢高校）
11日～17日	JENESYS2022東北訪問団（共催）	福島県、宮城県
13日	日台海洋協力対話第5回会合（共催）	東京都
19日	領事出張サービス	台南市
20日～2月8日	黒木国昭 創作60周年記念 台日国際芸術文化交流展（後援）	台北市（台湾国立国父記念館）

JENESYS2022東北訪問団（共催）

2023年1月11日～17日、台湾の大学生31名がJENESYS2022東北訪問団として福島県、宮城県を訪問しました。「復興・食品安全」をテーマとした今回のプログラムでは、女川シーバルピアや南三陸病院の記念碑を訪問し、昨年度オンラインで見学した商店街や記念碑を実際に歩いて、震災から復興した街の様子を視察しました。さらに、学生交流として、福島大学の学生と交流・意見交換をしたり、天栄村でのファームステイでの農業体験や林養魚所でハタの養殖を視察し、東北地方の食品安全に対して多角的な視点から理解を深める大変有意義な研修内容となりました。参加者からは、東北の復興はその地域の住民の声が反映されている点が素晴らしいと感じたという感想が多く、実際に訪問し、現地住民の話を聞かないと知ることができない日本を体感することができました。

【対日理解促進交流プログラム「JENESYS2022」について】

対日理解促進交流プログラムは、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招聘・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図り、外交基盤の拡充を目的とした外務省の事業です。

「JENESYS2022」は上記プログラムのうちアジア大洋州各国・地域を対象とした事業です。

